

学校とともに、地域とかかわり合える児童の育成をめざす PTA 活動

～子どもたちが故郷富田を好きになる富田地区をめざして～



PTA名称	周南市立富田東小学校育友会	
所在地	周南市桶川町2-1	
学校地域の概要・組織	<p>昭和28年に開校し、現在70年目。十数年前は旧新南陽市の中心校であった。永源山の南側、JR新南陽駅を中心に校区が広がっている。商業地や工場が校区内にあり、マンションが多く建ち並ぶ。海や富田川にも面しており、自然豊かさも味わえるコンパクトシティ富田である。</p> <p>また、本年度はコロナ禍の中「品と力と夢のある富田東の子ども」の育成」という伝統のある教育目標の中「品・力・夢」を育てることを合い言葉に、石丸敬子校長をはじめ教職員31名が児童を熱心に指導支援している。育友会活動が昔も今も盛んな学校であり、今は共働きの保護者も増えたことからコンパクトな活動をめざし、活動している。</p>	
研究テーマ	学校とともに、地域とかかわり合える児童の育成をめざす PTA 活動 ～子どもたちが故郷富田を好きになる富田地区をめざして～	
成果と課題	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童と地域、保護者のかかわる行事や取組がコロナ禍から少しずつ復活してきた。地域清掃やレク、「学校お助け隊」と活動する機会をとり、かかわりを深めることができた。 ○ 富田中学校区でのかかわり合いが深まった。小小連携や小中連携を意識しながらの活動が増え、特に「合同引き渡し訓練」（脅迫メールのため訓練でなく実際の引き渡しとなった）では、保護者と地域、学校の連携で無事引き渡しができ、手応えがあった。 ○ 体育フェスティバル（運動会）での保護者受付を育友会執行部が中心となり担当してもらったり、後援会や説明会等で会場の準備や片付けを自ら率先して動いてもらったり、多くの会員に協力いただいた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域とのかかわりの大切さを子どもたちに伝えるのは我々親世代」をキャッチフレーズにし、我々親世代が故郷富田を知り、子どもたちに伝える機会をと考えていたが、各種行事が計画段階での感染症拡大防止の不安もあり、中止や延期するもの 	

	<p>が多かった。来年度に期待したい。</p> <p>○ コロナ禍や時期を考え、校内でのふれあい清掃活動が行えなかった。今後、業者委託をしていくことにした。</p>
--	--

活動内容	<p>〈地域清掃〉</p> <p>6月25日(土)に天候に恵まれ、約30名の児童保護者が校区内の清掃活動をした。校区内にポイントをもたらる箇所を設け、ごみを拾いながら回りポイントをもらうという活動だった。ポイントがたまったら的当てゲームができるので、意欲的に取り組む児童が多かった。</p> <p>〈あそびんピック〉</p> <p>11月に開催の「あそびんピック」は、保護者や卒業生である中学生のボランティアが、様々なブースでゲームをし、ゲットしたコインで賞品をもらうという行事である。育友会長や校長、幼稚園教諭も最後のもちまきをする役になり、盛り上がりを見せた。</p> <p>〈引き渡し〉</p> <p>富田中学校区の保護者や地域が一体となって、安全な富田中校区にできるよう、「合同引き渡し訓練」を企画し、実行した。実際は金曜日1日のみ合同引き渡し訓練の予定だったが、脅迫メールが市に届いたことで、その前日の木曜日と金曜日の両日に引き渡しを行った。その際に、保護者や地域の自主防災等協力があり、かかわりあいの充実を感じた。保護者から、「いざというときに、協力があって助かる」という感想をいただいた。</p> <p>〈学校お助け隊〉</p> <p>地域連携の「学校支援」の一つでもあるが、授業支援などでも保護者や地域の方々が活躍する場面があった。家庭科の支援や7月に教職員・地域の方も参加しての除草作業、園芸活動への協力などだけでなく、育友会のサークル活動である読み聞かせや親子で読書する活動は、本校の特徴である(昨年度 文部科学大臣賞受賞)。</p>
------	---

<写真・資料>



6月4日 地域清掃（クリーンウォーク）の様子

地域のレクスポの方や育友会、たくさんの中学生のボランティアで運営された。



11月19日 あそびんピック（レクリエーション）の様子

ゲームをして貯めたメダルを賞品と交換する。地域のレクスポと育友会でお店を回す。



家庭科支援の様子

地域の方々や育友会等で、裁縫の学習の支援を行った。



引き渡しの様子

地域の自主防災組織の方々や育友会等で、混乱が起こらないよう手伝いを行った。